

学校だより



2学期を振り返り、学年のまとめの3学期に向けて！

今年もカレンダーが最後の1枚になってしまいました。子どもたちの学校生活も2学期の締めくくりに月になり、17日・18日・21日は個人懇談会も予定しています。短い時間ではありますが、2学期のお子様の様子を振り返るとともに、担任と話をさせていただき、学年のまとめである3学期に向けて前進できますようよろしくお願いいたします。

さて、新型コロナウイルス感染拡大防止対策で臨時休業になった1学期の授業時数を取り戻すために、8月20日から始まった2学期には、延期していた運動会をはじめ、日帰りの実施となりました。山の学習、海の学習、修学旅行、更に校外学習や秋祭りなどたくさんの行事や活動を実施しました。新型コロナウイルスの感染予防対策をしながら、子どもたちはそれぞれ「めあて」をもって行事や活動に取り組み、着実に力を伸ばしてきました。また、保護者や地域の皆様には、登下校の見守りや資源回収、社会体育の指導や支援など様々な面でお世話になりました。

今年も残るところ1か月。歴史にも記憶にも残る大変な年でしたが、この1年間の学習面と生活面を中心に成果と課題について振り返り、新しい年に向けて次への目標を考えさせたいと思います。

終わりにりましたが、今年1年間、例年とは違った形での行事や活動の実施にご理解とご協力をいただきました保護者や地域の皆様方に、心からお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

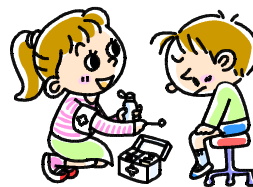


安全なくらし

気を付けていても、指導をしても毎日けがが起こり、多くの児童が保健室を利用しています。「安全なくらしをするためには、どんな過ごし方をすればよいのか。」を子どもたちと共に考え、不注意やルール違反によるけがを減らす2学期末にしたいと考えています。

2学期（先週まで）のけがの統計では、次のようになっています。

- 学年別発生件数 1年:26件, 2年:96件, 3年:52件, 4年:38件, 5年:20件, 6年:35件
- 場所別発生件数 運動場:131件, 教室・特別教室:33件, 体育館:13件, 通学路5件, 廊下:4件
- 時間別発生件数 体育等の授業中:58件, 中休み:55件, 昼休み:31件, 給食前後:9件
掃除時間:8件, 登校中:5件
- 種類別発生件数 擦過傷:92件, 打撲:77件, かゆみ:23件, 突き指:12件
刺し傷:11件, 捻挫:10件, 切り傷:5件, やけど:3件



校外でも危険はたくさんあり、道路・用水路・川・池・崖などで気を付けないといけないきまりや必ず守らなくてはならないきまりがあります。子どもたちが危険なことをしている時には、遠慮なく“鴨西小の子ども”として注意してくださるようお願いいたします。冬休みを前に、気持ちが落ち着かなくなる時期です。ご家庭でも「安全」を話題にさせていただけるとありがたいです。

【 躰 と 教育 】

「躰」という字は、身を美しくすると書きます。「挨拶をきちんとする」「言葉遣いに気を付ける」「嘘をつかない」「物を丁寧に使う」「食べ物を残さずきれいに食べる」「脱いだ履物をそろえる」など、「躰」は子どもが人として社会で生きていく上でのルールやマナーを身に付けさせることです。「躰」という文字は、日本で作られた文字（国字）だそうですが、きちんと躰けられた人は、所作だけではなく考え方も美しいと感じられます。

一方「教育」とは、知識や技術を教え、人の能力を開発して望ましい姿に育てる活動のことを言い、「学校教育」や「社会教育」など対象や目的によって変わることから、その意味は広く捉えられます。

ところで、この「躰」と「教育」は、似ているようで違います。「躰」は、その結果として同じような姿に近付くことになりませんが、「教育」では、個性を伸ばすと多種多様な将来に行き着くように、必ずしも同じ姿にはなりません。

学校教育の場である学校は、もちろん「教育」をしています。また、学校が子どもたちの人格形成や集団育成の場であることから「躰」に近い「教育」もしています。生活指導として、挨拶などの「基本的な生活習慣」や「公正・公平な態度」などを教えていますし、道徳科の授業にもそうしたことを学ぶ学習内容があります。しかし、家庭での「躰」が不十分だと、学校の「教育」の効果は半減します。子どもの周りの大人が同じ価値観で導びかないと、子どもはすぐに易しい方に流されていくからです。例えば、学校でいくら「時間を守りなさい」と指導しても、家庭での時間の過ごし方がルーズであれば、子どもはそれが基本になってしまいます。

学校では、集団規範や礼儀作法について、これからも指導を続けていきますが、ベースとなる家庭での「躰」があってこそ「教育」です。家庭と学校とが、子どもの未来について同じ方向を見ながら、価値観を共有して育てていくことができればと考えています。これからもお子様の健やかな成長のために引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

